雪中の日光より

木下尚江

青空文庫

十八日發　　樹蔭生

十六日夜は渡良瀬河畔に父老と語り明かしつ、明けの日も爲めにいたく時をうつしぬ、堤上の茂竹枯れて春は來ぬれど鶯も鳴かずなど訴ふるを聽て

鶯も鳴かずなりぬる里人は
　なにをしるしに春は知るらん

佐野の停車場に瀛車を待ちぬるに山風に雪の降り來ぬれば

袖さへに拂はでむかし忍ぶかな
　佐野のわたりの雪の夕暮

覺束な、明日入る路や絶へぬらん
　足尾の山はみ雪降るなり

十七日、日光に泊りぬ、奥羽地方より雪ふみ分けて來ぬる參詣の旅客にて賑はし、今朝起き出でぬれば雪積もること三尺、美觀言はん方なし

まれに來し人の爲めとや山姫は
　雪の白綾かつぎしぬらん

去れど心さす方のある身には如何ばかり苦しかるらん、今も尚ほ繽紛（ひんぷん）として止まんともせず、

せめては雪のはるゝを待ちて登山せん

行方さへあはれ何れとしら雪の

あまきる空をながめぬるかな

華氏五十三度されど雪後の寒さこそ思ひやらるれ、

（明治三十三年二月二十二日　毎日新聞第八八二六號）

青空文庫情報

底本：「木下尚江著作集第1巻」明治文献
1972（昭和47）年2月10日第1刷発行
初出：「毎日新聞　第八八二六號」
1900（明治33）年2月22日
入力：林　幸雄
校正：小林繁雄
2006年7月19日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

雪中の日光より

木下尚江

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/